

科目名	キャリア教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 将太
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようにする。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事における学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 将太
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	進級を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2		演習	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(基本的対話スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(自己表現スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(社会的スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(サービスマインドについて)	配布プリントを記入し次回提出
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	加藤 将太
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	加藤 将太
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	デジタルファンデーション 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身につけ、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。					
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。					
評価方法と基準	出席率100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	パソコンの起動方法と基礎知識① 各種ダウンロード、授業履修のための準備	授業の復習
2		講義・演習	パソコン基礎知識② Adobe・Macのアプリ(Keynote)	授業の復習
3		講義・演習	卓録について 収録機材と収録環境について	授業の復習
4		講義・演習	音声編集について	授業の復習
5		講義・演習	Photoshop① 基礎	授業の復習
6		講義・演習	Photoshop② 写真の修正	授業の復習
7		講義・演習	Photoshop③ サムネ	授業の復習
8		講義・演習	Photoshop④ サムネ	授業の復習
9		講義・演習	Premiere① 基礎・操作	授業の復習
10		講義・演習	Premiere② オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
11		講義・演習	Premiere③ オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
12		講義・演習	Premiere④ ショートカットなど(基礎編集)	授業の復習
13		講義・演習	Premiere⑤ まとめ(基礎編集)	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デジタルファンデーション 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身に着け、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。						
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	出席率100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Premiere⑤ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
2		講義・演習	Premiere⑥ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
3		講義・演習	Premiere⑦ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
4		講義・演習	Premiere⑧ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
5		講義・演習	Premiere⑨ 中間課題作成	授業の復習
6		講義・演習	Premiere⑩ 中間課題作成	授業の復習
7		講義・演習	Premiere⑪ 中間課題作成	授業の復習
8		講義・演習	illustrator① 基礎	授業の復習
9		講義・演習	illustrator② フライヤー作成	授業の復習
10		講義・演習	illustrator③ フライヤー作成	授業の復習
11		講義・演習	簡易CM制作① グリーンバック・マスク	授業の復習
12		講義・演習	簡易CM制作②	授業の復習
13		講義・演習	簡易CM制作③	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備 学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する						
到達目標	①日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	自己紹介&個人目標設定	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	ハングルの理解を深める	文字書いて読める復習を行う
3		講義・発表	教科書の勉強	ワークブックで復習
4		講義・発表	リスニング練習・ペアで話す練習	好きな勉強法で楽しく復習
5		講義・発表	発音をよく聞いてマネする	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	韓国の地図・文化を知る	教科書の内容を復習
7		講義・発表	友達・趣味・関心事について	作文を練習
8		講義・発表	将来・食べ物について	考えて作文を書く
9		講義・発表	否定・賛成表現	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	一人ずつ発表	自分の声を録音
11		講義・発表	形容詞・過去形	出来事について書く
12		講義・発表	未来形・可能形	将来にやりたいことを考える
13		講義・発表	作文・スピーチ	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	韓国語2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する						
到達目標	韓国語の読解・聴解・会話スキルを発展させ、韓国のニュースやドラマを理解し、日常会話やディスカッションを円滑に行えるようになる。また、過去形や条件文、敬語などの文法を習得し、正確な表現ができるようになる。さらに、韓国の文化や観光地についての知識を深め、異文化理解を促進する。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	新聞 - 韓国のニュース記事を読んで理解する。	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	職業 - 職業に関する韓国語の単語を学ぶ。	ハングルの復習を行う
3		講義・発表	過去形 - 過去の出来事を表現するための文法を学ぶ。	ワークブックで復習
4		講義・発表	伝統行事 - 韓国の伝統的な行事や文化について学ぶ。	ワークブックで復習
5		講義・発表	発音練習 - 韓国語の発音を正確に練習する。	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	友達との会話 - 友達との日常会話を練習する。	ワークブックで復習
7		講義・発表	ドラマ - 韓国ドラマを聴いて内容を理解する。	ワークブックで復習
8		講義・発表	条件文 - 条件を表現する文法を学ぶ。	ワークブックで復習
9		講義・発表	食べ物 - 韓国の食べ物に関する単語を学ぶ。	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	敬語 - 礼儀正しい表現や敬意を示す文法を学ぶ。	ワークブックで復習
11		講義・発表	観光地 - 韓国の観光地についての知識を深める。	ワークブックで復習
12		講義・発表	ディスカッション - トピックについてのディスカッションを行う。	他人の意見を聞いてレポートを記載
13		講義・発表	最終テスト準備 - 前期からの復習と最終テストの準備をする。	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	ダンス&ヴォーカル1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	JAE
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、 ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ。						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、 ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、 確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確 認動画でチェックする。
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱口パフォーマンスが 実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが 実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが 実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが 実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックす る。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックす る。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェック する。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェック する。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画 でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画 でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォー マンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォー マンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォー マンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォー マンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認 動画でチェックする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンス&ヴォーカル 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	JAE
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年						
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴								
授業の学習内容	<p>舞台上で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかり取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。</p>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 			次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	イーブンタイムステップ			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	プルバックの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ			レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ			レポート提出		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	TAP2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴								
授業の学習内容	<p>舞台上で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかりと取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。</p>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 			次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	イーブンタイムステップ			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	ブルバックの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ			レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ			レポート提出		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	Body Fundamental1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を骨格ベースで学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	授業態度（出席率も含む） 50% 筆記試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について（自分の身体を感じる）	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	ケガをしにくい身体の使い方（セルフケア、ストレッチ）	日常から姿勢、ケアを意識する
4		講義・演習	骨盤（動き、構造、機能について）	プリエ、アイソレーションで骨盤を意識して動く
5		講義・演習	股関節（位置、どのように動くのか）	プリエやタンジュの動きでどのように使っているか
6		講義・演習	背骨（構造、機能、体幹の動きについて）	身体の繋がりの中で動いているか
7		講義・演習	腹筋（腹筋の種類と働き）	腹筋の動きを意識して行う
8		講義・演習	膝（機能、構造、動きについて）	柔らかいプリエの動きができているか
9		講義・演習	足（基盤としての足の構造、機能）	土台としての機能をしているか
10		講義・演習	腕（構造、動き、ポールドブラについて）	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	呼吸（呼吸の仕組み、胸郭について）	自分がどのような呼吸をしているのかを感じる
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなく、レッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する解剖学を前期の骨格ベースから筋肉の動きへと発展させる (2) セルフケアを取り入れながら身体のコンディショニングの方法を学ぶ						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の知識を通し、動きへの理解を深める (2) 自分の身体を理解することで弱点の克服、強化などを自分自身で選択、実践する能力を高めることができるようになる						
評価方法と基準	授業態度（出席率も含む） 50% 筆記試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習	前期の授業内容を確認しておく
2		講義・演習	メンタルと身体の関係	イメージの力が身体にどのように関わっているか
3		講義・演習	下肢の筋肉①（骨盤底筋、股関節周りの筋肉）	プリエの動きが効率よくできているか
4		講義・演習	下肢の筋肉②（脚から足にかけての筋肉）	タンジュからバットマンで正しく使えているか
5		講義・演習	上肢の筋肉（腕を動かす筋肉）	ポールドブラを正しく使えているか
6		講義・演習	腹筋（腹筋を使った動き）	腹筋をどのように使っているか
7		講義・演習	効率的な呼吸（肋骨、肋間筋）	日常の呼吸と踊るときと日常の呼吸の違い
8		講義・演習	背筋について（背筋の種類と動き）	背筋を意識して動くと身体はどう変化するか
9		講義・演習	体幹の動き（3軸方向の動きの連動）	上半身の動きが効率よくできているか
10		講義・演習	首の動き（環椎、軸椎）	姿勢、ピルエットとの関わり
11		講義・演習	後期試験	前期・後期の授業内容を確認しておく
12		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
13		講義・演習	1年間のまとめ	自分の課題を自分で考える
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デジタルファンデーション 3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身につけ、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。						
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	出席率100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	パソコンの起動方法と基礎知識① 各種ダウンロード、授業履修のための準備	授業の復習
2		講義・演習	パソコン基礎知識② Adobe・Macのアプリ(Keynote)	授業の復習
3		講義・演習	卓録について 収録機材と収録環境について	授業の復習
4		講義・演習	音声編集について	授業の復習
5		講義・演習	Photoshop① 基礎	授業の復習
6		講義・演習	Photoshop② 写真の修正	授業の復習
7		講義・演習	Photoshop③ サムネ	授業の復習
8		講義・演習	Photoshop④ サムネ	授業の復習
9		講義・演習	Premiere① 基礎・操作	授業の復習
10		講義・演習	Premiere② オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
11		講義・演習	Premiere③ オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
12		講義・演習	Premiere④ ショートカットなど(基礎編集)	授業の復習
13		講義・演習	Premiere⑤ まとめ(基礎編集)	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デジタルファンデーション 4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身に着け、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。						
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	出席率100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Premiere⑤ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
2		講義・演習	Premiere⑥ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
3		講義・演習	Premiere⑦ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
4		講義・演習	Premiere⑧ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
5		講義・演習	Premiere⑨ 中間課題作成	授業の復習
6		講義・演習	Premiere⑩ 中間課題作成	授業の復習
7		講義・演習	Premiere⑪ 中間課題作成	授業の復習
8		講義・演習	illustrator① 基礎	授業の復習
9		講義・演習	illustrator② フライヤー作成	授業の復習
10		講義・演習	illustrator③ フライヤー作成	授業の復習
11		講義・演習	簡易CM制作① グリーンバック・マスク	授業の復習
12		講義・演習	簡易CM制作②	授業の復習
13		講義・演習	簡易CM制作③	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備 学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する						
到達目標	①日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	自己紹介&個人目標設定	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	ハングルの理解を深める	文字書いて読める復習を行う
3		講義・発表	教科書の勉強	ワークブックで復習
4		講義・発表	リスニング練習・ペアで話す練習	好きな勉強法で楽しく復習
5		講義・発表	発音をよく聞いてマネする	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	韓国の地図・文化を知る	教科書の内容を復習
7		講義・発表	友達・趣味・関心事について	作文を練習
8		講義・発表	将来・食べ物について	考えて作文を書く
9		講義・発表	否定・賛成表現	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	一人ずつ発表	自分の声を録音
11		講義・発表	形容詞・過去形	出来事について書く
12		講義・発表	未来形・可能形	将来にやりたいことを考える
13		講義・発表	作文・スピーチ	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	韓国語4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する						
到達目標	韓国語の読解・聴解・会話スキルを発展させ、韓国のニュースやドラマを理解し、日常会話やディスカッションを円滑に行えるようになる。また、過去形や条件文、敬語などの文法を習得し、正確な表現ができるようになる。さらに、韓国の文化や観光地についての知識を深め、異文化理解を促進する。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	新聞 - 韓国のニュース記事を読んで理解する。	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	職業 - 職業に関する韓国語の単語を学ぶ。	ハングルの復習を行う
3		講義・発表	過去形 - 過去の出来事を表現するための文法を学ぶ。	ワークブックで復習
4		講義・発表	伝統行事 - 韓国の伝統的な行事や文化について学ぶ。	ワークブックで復習
5		講義・発表	発音練習 - 韓国語の発音を正確に練習する。	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	友達との会話 - 友達との日常会話を練習する。	ワークブックで復習
7		講義・発表	ドラマ - 韓国ドラマを聴いて内容を理解する。	ワークブックで復習
8		講義・発表	条件文 - 条件を表現する文法を学ぶ。	ワークブックで復習
9		講義・発表	食べ物 - 韓国の食べ物に関する単語を学ぶ。	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	敬語 - 礼儀正しい表現や敬意を示す文法を学ぶ。	ワークブックで復習
11		講義・発表	観光地 - 韓国の観光地についての知識を深める。	ワークブックで復習
12		講義・発表	ディスカッション - トピックについてのディスカッションを行う。	他人の意見を聞いてレポートを記載
13		講義・発表	最終テスト準備 - 前期からの復習と最終テストの準備をする。	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	ダンス&ヴォーカル 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	JAE
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年						
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	声帯の正しい使い方、息の使い方、発声の基本を学ぶ。	発声と音感トレーニング
2		演習	音楽のリズムに合わせた歌唱やダンスの練習を行う。	1の復習
3		演習	声の抑揚やトーンのコントロール、発声の安定性を向上させるトレーニングを行う。	2の復習・ストレッチ
4		演習	歌詞の意味や感情を表現するための声の使い方や表現の技法を学ぶ。	3の復習・ストレッチ
5		演習	基本的なステップやリズム感、姿勢の改善など、ダンスの基礎を習得する。	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	音程の正確さ、ボーカルレンジ、ベルトなどのテクニックを磨く。	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	様々なダンスステップや振付を練習し、身体の柔軟性や協調性を高める。	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
8		演習	曲やダンスの演出、ステージ上の動きや表情の工夫など、総合的なパフォーマンスの構築を行う。	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
9		演習	グループでのハーモニーを取るための練習やアンサンブルの技術を磨く。	グループ課題を決め予習してくる
10		演習	グループでの振付を練習し、ダンスの一体感や演出力を高める。	グループ課題の振り起こし・予習
11		演習	グループでの振付を練習し、ダンスの一体感や演出力を高める。	他グループの発表を見てレポートを書く
12		演習	歌唱やダンスにおける表現力を高めるための演技のトレーニングを行う。	自身の身の回りでお粉っている動作を観察する
13		演習	前期の学んだ技術や表現力を集約し、最終的なパフォーマンスを披露する。	他人の発表を見てレポートを書く
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンス&ヴォーカル 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	JAE
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	自分の声の特徴や個性を見つけ、それを活かしたスタイルの探求と実践。	発声と音感トレーニング
2		演習	異なるダンスジャンルや動きの特徴を学び、自身のダンススタイルを磨く。	1の復習・ストレッチ
3		演習	ステージ上での存在感や表現力を高めるための演技技術やコミュニケーションのトレーニング	日常生活での人との会話を観察する
4		演習	グループとの息の合ったパフォーマンスを実現するための練習やアンサンブルの研鑽	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	オリジナル曲作りの基礎やメロディー、歌詞、アレンジの構築方法を学び、自己表現を追求する	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
6		演習	ボーカル・ダンスのオーディションに向けた準備や自己PRの方法、審査員へのアピールポイントの探求	自身の長所短所などプロフィールシートを作成
7		演習	声の安定性や持久力を高めるためのボーカルトレーニングやエクササイズの実践	発声と音感トレーニング
8		演習	身体の柔軟性やスタミナを向上させるためのダンスエクササイズや体カトレーニング	ストレッチ
9		演習	歌唱やダンスにおける演技力や表現力を向上させるための演技トレーニングやシーン練習	過去にあった喜怒哀楽を課題シートに記載してくる
10		演習	メイクアップの基本やステージメイクのテクニックを学び、パフォーマンスに適したメイクの実践	自身でアーティストのメイクを研究してくる
11		演習	パフォーマンスに適した衣装の選び方やスタイリングのアイデアの探求と実践	自身でアーティストの衣装を研究してくる
12		演習	チームでのライブイベントの企画や演出、プロモーションなどの実践的なプロデュース活動	ライブイベントの企画を先に考えておく
13		演習	前期の学んだ技術や知識を結集し、オリジナルパフォーマンスやライブイベントの最終プロジェクトを実施。	他のグループの発表を鑑賞してレポートを提出する
14		演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	プリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいプリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	ダンス & アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	ブリエータンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいブリエータンジュの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの基礎ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのベーシックなステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シャッフル・ブラッシュ・シムシャム	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	前回の復習、スウィングの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ(トリプルまで)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	クロスフロア、スラップ、バックステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	プルバックの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ練習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの応用ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スウィングの強化①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	スウィングの強化②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ強化	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	後期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション A 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション A 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション B 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション B 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション C 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション C2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	
15		講義・演習	振り返り	
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージックセオリー1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、現場で即戦力とされる人材として育成するために音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練することで自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る 楽器ごとの音域を知る
2		講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3		講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる 連符について知る
4		講義・演習	拍子、複合拍子	小節線 単純拍子、複合・混合拍子 タイ、シンコペーションを理解する
5		講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6		講義・演習	スコアリーディング	1w~5wまでの復習をし理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	1w~5wまでの復習をし理解度を高める
8		講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを理解する (#系メジャースケール)
9		講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする (b系メジャースケール)
10		講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる 臨時記号の効力 正しい楽譜の書き方を知る
11		講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15		講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】「ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部

科目名	ミュージックセオリー2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	マイナースケール	マイナースケールの仕組みを理解し、調号を用いてナチュラルマイナースケールが書けるよう復習する
2		講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの特徴を理解し、スケールが書けるよう復習する
3		講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4		講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようになる
5		講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
6		講義・演習	スコアリーディング	1w~5wまでの復習をし、理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	1w~5wまでの復習をし、理解度を高める
8		講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習する
9		講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにする
10		講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習する
11		講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習する
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15		講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部

科目名	イヤートレーニング1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2		講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3		講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#♭あり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7		講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9		講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1~5度8度、#♭あり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major, minorのコード判定、音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14		講義・演習	期末テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
15		講義・演習	テスト返却、総復習	今までの内容を復習する
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】

「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売)

科目名	イヤートレーニング2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ET I で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major, Minorのコード聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2		講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor, Cminorのメロディー書き取り、コードの聴き分け (C, G, F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3		講義・演習	リズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り (臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4		講義・演習	リズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り (臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5		講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6		講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7		講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8		講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14		講義・演習	期末テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
15		講義・演習	テスト返却、総復習	今までの内容を復習する
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】イヤートレーニング 喜多弘悦 (著) 滋慶教育科学研究所 (監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版 (発行) 株式会社滋慶教育事業部 (発売)				

科目名	栄養学	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	栄養素などの基礎的な内容や食事摂取による学術的評価、栄養が心や成長・発達に及ぼす影響について学ぶ。 後半ではスポーツと栄養学の関係に注視し、身体強化やリカバリーに効果的な栄養摂取方法やスポーツによる必要な栄養について学び実践に役立てる。						
到達目標	専門知識の習得: 栄養学の基礎から応用まで幅広い知識を習得し、栄養素の機能や代謝、食事評価、栄養管理の理論などについて深い理解をすることができる。 健康への関心と実践: 栄養学の知識を自身や他人の健康に役立てるため、健康への関心を持ち、実践する能力を身につけることができる。						
評価方法と基準	筆記テスト60% + 出席率40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	栄養学の基礎	授業内容の復習
2		講義・演習	エネルギー代謝と栄養摂取	授業内容の復習
3		講義・演習	食事摂取の評価とサプリメントの科学的根拠	授業内容の復習
4		講義・演習	食品の加工と栄養	授業内容の復習
5		講義・演習	栄養と成長・発達	授業内容の復習
6		講義・演習	栄養教育と心理的健康	授業内容の復習
7		講義・演習	栄養と社会的健康	授業内容の復習
8		講義・演習	プレ・ポストトレーニングの栄養戦略	授業内容の復習
9		講義・演習	高強度トレーニングと栄養管理	授業内容の復習
10		講義・演習	持久力スポーツとエネルギー供給	授業内容の復習
11		講義・演習	スポーツ栄養と身体組成管理	授業内容の復習
12		講義・演習	スポーツ栄養とリカバリー/復習	授業内容の復習
13		講義・演習	テスト	授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞踊舞台史1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの軸を理解する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピンター	グループで「シュールレアリスム演劇」か「ロシア演劇」の戯曲を 選び一部発表できるように準備する
10		講義・演習	シュールレアリスム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アンガラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教材：舞台舞踊史)				

科目名	解剖学 (Body Fundamenta)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	プリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいプリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	宮澤真志
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	弁護士歴7年。著作権をはじめとする知的財産権を専門としています。						
授業の学習 内容	エンタメ業界に就職する上で最低限必要になる法的知識						
到達目標	①プロや社会人になる上で、権利や契約がいかに重要であるかを知る。 ②エンタメ業界において、絶対にやってはいけないこと、気を付けなければならないこと等を知る。 ③適切なタイミングで、適切な人に、相談できるような感覚を身につける。						
評価方法と基準	出席率及び授業態度80%、テスト20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	著作権の基礎(1)～著作物って何だろう?～	授業の復習
2		講義・演習	著作権の基礎(2)～著作権ってどんな権利?～	授業の復習
3		講義・演習	違反になるケース～何が盗作になるの?～	授業の復習
4		講義・演習	違反したら犯罪!?～海賊版って何?～	授業の復習
5		講義・演習	著作者人格権って何だろう?～替え歌っていいの?～	授業の復習
6		講義・演習	著作隣接権って何だろう?～ライブ配信アプリでカラオケ配信してもいいの?～	授業の復習
7		講義・演習	コピーとダウンロード～音楽ダウンロードは違法?～	授業の復習
8		講義・演習	写りこみ～写真に人や絵が写りこんだらダメ?～	授業の復習
9		講義・演習	著作物のライセンス～フリー素材ってホントにフリー?～	授業の復習
10		講義・演習	音楽著作権の世界～JASRACってどんな団体?～	授業の復習
11		講義・演習	契約条件～契約書ってホントにおそろしい?～	授業の復習
12		テスト	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
13		講評	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤和太
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	古代音楽、中世音楽、ルネサンス、バロック、古典派、ロマン派、近代音楽など、さまざまな時代やスタイルの音楽ジャンルの特徴や発展とその時代に活躍した音楽家や楽曲について網羅的に学ぶ。学んだ内容から音楽史におけるジェンダーとの関係、評価の変遷等の諸問題について検討・議論を行う。						
到達目標	音楽の歴史的背景の理解：音楽の歴史を通じて、異なる時代や文化における音楽の変遷や発展を理解し、音楽の多様性と連続性を認識できるようになること。 また、その学びから音楽の要素や構造を読み取り、音楽の楽曲や作曲家のスタイル、形式、技法などを分析し、その背景や影響を理解することができるようになること。						
評価方法と基準	筆記テスト60%+出席率40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	古代音楽の概要 古代エジプト、メソポタミア、古代ギリシャの音楽	授業の復習
2		講義・演習	中世音楽の発展 グレゴリオ聖歌と教会音楽/トルバドゥールとトルヴェールの音楽	授業の復習
3		講義・演習	ルネサンス音楽 ポリフォニーの発展と宗教音楽/ルネサンス期の主要作曲家と作品	授業の復習
4		講義・演習	バロック音楽 バロック期の音楽様式と特徴/主要作曲家と作品	授業の復習
5		講義・演習	クラシック音楽 ウィーン古典派とハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの音楽/主要作曲家と作品	授業の復習
6		講義・演習	ロマン派音楽 ロマン派の音楽様式と特徴/主要作曲家と作品	授業の復習
7		講義・演習	近代音楽の興隆 印象主義とクラウディオ・ドビュッシーの音楽/モダンな音楽様式と主要作曲家	授業の復習
8		講義・演習	ジャズの発展と影響 ジャズの起源と発展/主要なスタイルと代表的なミュージシャン	授業の復習
9		講義・演習	ポピュラー音楽の歴史 ロックンロール、ポップ、ヒップホップなどのポピュラー音楽の発展/音楽の主要なジャンルと代表的なアーティスト	授業の復習
10		講義・演習	ワールドミュージックの紹介 アフリカ音楽、ラテン音楽、アジア音楽などのワールドミュージックの概要/文化的背景と特徴的な楽器やリズムの紹介	授業の復習
11		講義・演習	音楽と社会の関係 音楽と政治、社会運動、文化の関連性/社会的メッセージを持つ音楽の例と影響	授業の復習
12		講義・演習	音楽史の総まとめと展望 音楽史の要点と重要な出来事の振り返り/現代音楽の動向と将来の展望	授業の復習
13		講義・演習	学生プレゼンテーションとディスカッション 学生による特定の時代や作曲家についての研究プレゼンテーション/学生同士の意見交換とディスカッション	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				